

江東区交通事故年別推移と平成 22 年江東区内交通事故分析データ

平成 23 年 5 月 16 日
土木部交通対策課交通係

本資料における用語の意味

交通事故

道路交通法第 2 条第 1 項に規定されている道路において、車両、路面電車及び列車(軌道車)の交通によって起こされた、人の死亡又は負傷を伴った事故及び物的損害を伴った事故をいう。

死亡(死者)

交通事故発生から 24 時間以内に死亡した場合(人)をいう。

重傷(重傷者)

交通事故により負傷し加療日数が 30 日以上の場合(人)をいう。

軽傷(軽傷者)

交通事故により負傷し加療日数が 30 日未満の場合(人)をいう。

第 1 当事者 (1 当)

過失(違反)がより重いか又は過失(違反)が同程度の場合は、被害がより小さい方の当事者をいう。

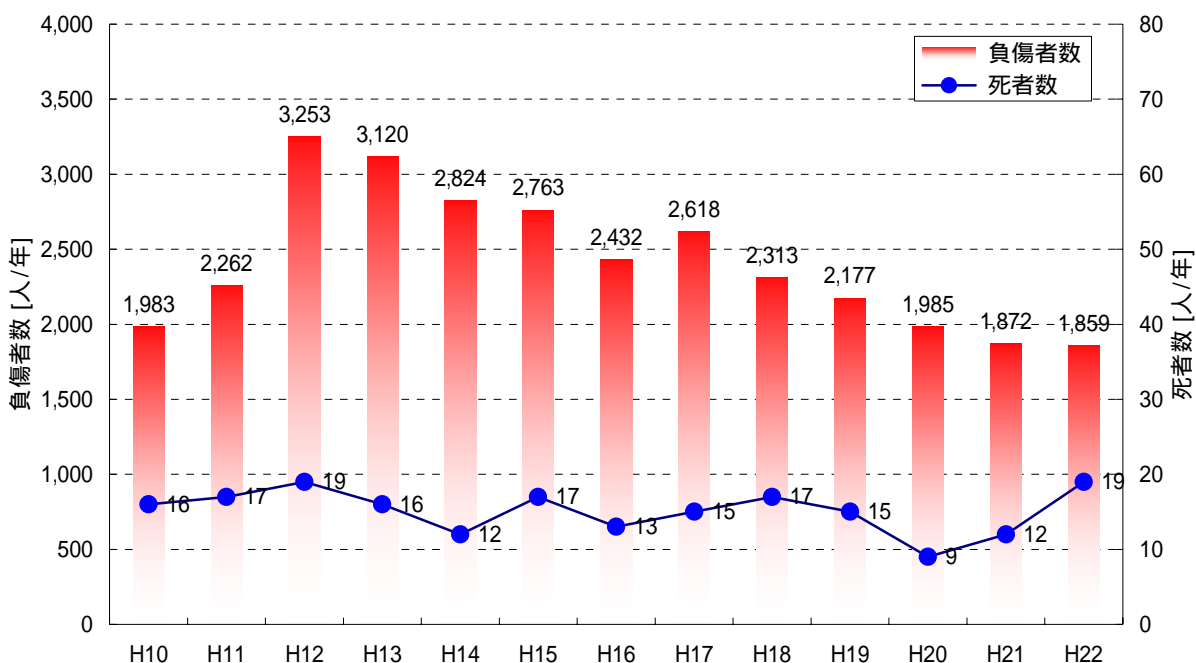
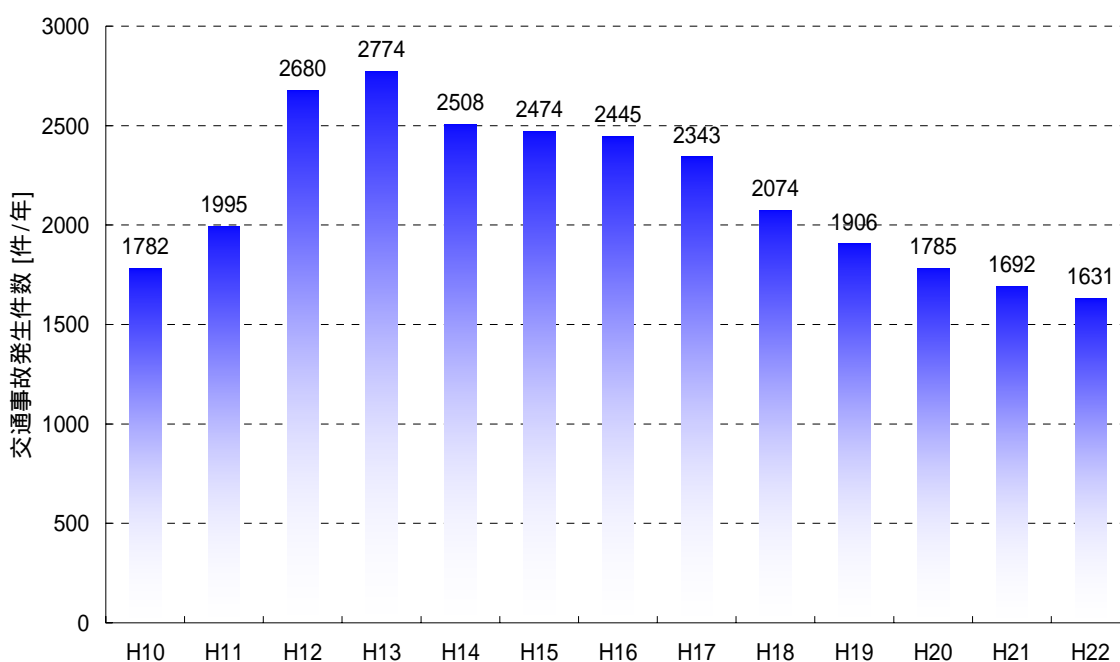
第 2 当事者(2 当)

過失(違反)がより軽いか又は過失(違反)が同程度の場合は、被害がより大きい方の当事者をいう。

江東区内交通事故年別推移

- ・平成10年以降の推移をみると、事故発生件数、負傷者数、平成13年をピークに、減少傾向となっている。
- ・平成10年対比で、平成22年の事故発生件数(指数)は0.92となっており、最も多かった平成13年の約6割程度となっている。
- ・死者数は平成20年に9人と平成10年以降で最も少なくなったが、平成22年は19人であった。

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
発生件数	1,782	1,995	2,680	2,774	2,508	2,474	2,445	2,343	2,074	1,906	1,785	1,692	1,631
指数	1.00	1.12	1.50	1.56	1.41	1.39	1.37	1.31	1.16	1.07	1.00	0.95	0.92
死者数	16	17	19	16	12	17	13	15	17	15	9	12	19
指数	1.00	1.06	1.19	1.00	0.75	1.06	0.81	0.94	1.06	0.94	0.56	0.75	1.19
負傷者数	1,983	2,262	3,253	3,120	2,824	2,763	2,432	2,618	2,313	2,177	1,985	1,872	1,859
指数	1.00	1.14	1.64	1.57	1.42	1.39	1.23	1.32	1.17	1.10	1.00	0.94	0.94



平成 22 年交通事故分析データ

道路種別事故発生件数・死傷者件数

- ・ 事故件数の内訳をみると、都道が約52%、区道が約31%、国道が約10%となっている。
- ・ 死傷者数では、都道が約53%、区道が約29%、国道が約11%と事故件数とほぼ同じ傾向を示している。
- ・ 死亡事故発生率は、国道が約2%、都道が約1%、区道が約0.6%となった。

道路種別	事故件数				死傷者数			
	計	死亡事故	重傷事故	軽傷事故	計	死者	重傷者	軽傷者
国道	169	4	4	161	208	4	4	200
主要都道	599	6	8	585	687	6	8	673
一般都道	255	3	7	245	306	3	7	296
区市町村道	499	3	4	492	546	3	4	539
その他	109	2	2	105	131	3	2	126
計	1631	18	25	1588	1878	19	25	1834

昼夜別事故発生件数、死傷者数

- ・ 事故発生件数については、昼間が約67%、夜間が約33%であった。
- ・ 一方で死者・重傷者数は、昼間が約55%、夜間が45%であり、昼間に比べ、夜間における重大事故の発生率が高いことがわかった。

	昼	夜
事故件数	1088	543
死者	9	10
重傷者	15	10
軽傷者	1227	607

道路形状別 事故件数、死傷者数

- ・ 交差点、及び交差点付近での事故件数が約59%を占めた。

	交差点	交差点付近	単路			踏切	その他
			トンネル	橋	その他		
事故件数	760	202	8	57	584	0	20
死者	4	5	2	1	7	0	0
重傷者	13	4	0	1	7	0	0
軽傷者	837	249	7	65	652	0	24

車道幅員、交差点規模別 事故件数、死傷者数

	車道幅員									
	単路						交差点(1当流入側基準)			
	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9m以上	13.0m以上	19.5m以上	小	中	大	その他
事故件数	13	26	180	151	306	175	116	283	361	20
死者	0	0	5	0	6	4	0	2	2	0
重傷者	0	0	2	2	3	5	0	4	9	0
軽傷者	13	27	201	195	335	202	121	307	409	24

事故類型別事故件数、死傷者数

- ・ 全事故件数の内、車両相互の事故が約86%、人対車両の事故は約11%であった。
- ・ 人対車両の事故件数の内、横断中の事故は約74%であった。
- ・ 車両相互の事故では、追突、出合頭の事故が多く、車両相互の事故件数に占める割合が、それぞれ、約31%、約27%であった。

	人対車両					車両相互								車両単独	踏切
	対面・背面 通行中	横断中			その他	正面衝突	追突	出合頭	追越追抜時	すれ違い	左折時	右折時	その他		
		横断歩道	横断歩道 付近	その他											
事故件数	26	80	7	50	22	12	436	378	52	12	151	166	199	40	0
死者	1	2	0	3	1	0	3	1	2	0	1	0	0	5	0
重傷者	0	6	0	1	1	0	4	2	1	0	2	3	5	0	0
軽傷者	25	76	7	49	22	12	573	418	52	12	152	183	214	39	0

交通手段別事故件数、本人損傷死傷者数

- ・ 事故件数では乗用車の関連する事故が最も多く約41%、続いて貨物車が約21%、自転車が約18%、自動二輪・原付が約14%、歩行者が約6%を占めていた。
- ・ 一方、死者・重傷者数では自動二輪車・原付が約41%、歩行者が約34%、自転車が約18%と、発生件数と逆の傾向を示した。
- ・ 軽症者数では、自転車が最も多く約31%、乗用車が約29%、二輪車が約20%となった。

	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	
	大型車	中型車	普通車	軽自動車	大型車	中型車	普通車	軽自動車		自動二輪	原付				
事故件数	1当件数	18	3	864	56	69	121	195	106	3	72	50	53	9	12
	2当件数	3	1	334	36	29	39	66	45	0	206	114	542	176	0
	計	21	4	1198	92	98	160	261	151	3	278	164	595	185	12
本人損傷 死傷者数	死者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	2	2	7	0
	重傷者	0	0	0	0	1	1	0	0	0	7	2	6	8	0
	軽傷者	8	1	483	45	26	35	78	50	0	242	129	560	177	0

時間帯別事故件数、死傷者数

- ・ 8～10時、16～18時が最も多く、8～18時は約200件と横ばいの傾向を示した。
- ・ 死者・重傷者事故の発生時間は4～6時の早期時間帯が最も多く、その数は9人だった。

	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～0
事故件数	49	33	50	127	210	197	189	197	217	178	122	62
死者	2	1	4	1	4	1	1	0	1	1	1	2
重傷者	1	2	5	1	3	2	5	3	0	1	2	0
軽傷者	54	34	51	142	227	216	213	237	251	203	134	72

年齢層別事故件数、本人損傷死傷者数

- ・ 事故件数の内、25～64歳の占める割合が約75%で最も多く、次いで若年層(高校生～24歳)が約10%、65歳以上の高齢者が約8%、子ども(中学生以下)は3%であった。
- ・ 死亡者・重傷者数でも同様の事故件数とほぼ同様の傾向を示した。

		子ども			若年層			25～29	30歳代	40歳代	50歳代	60～64	高齢者			
		幼児	小学生	中学生	高校生	未成年	20～24						65～69	70～74	75～79	80歳以上
事故件数	1当件数	0	2	2	13	22	99	129	343	341	252	203	122	66	19	7
	2当件数	6	53	29	33	35	117	155	363	294	230	95	92	46	27	16
	計	6	55	31	46	57	216	284	706	635	482	298	214	112	46	23
本人損傷死傷者数	死者	0	0	0	0	0	3	1	2	4	5	1	1	0	0	2
	重傷者	0	1	0	0	0	2	1	3	9	1	3	1	3	0	1
	軽傷者	30	65	32	40	49	142	180	412	331	243	103	99	58	29	21

		子ども	若年層	25～64	高齢者
事故件数	1当件数	4	134	1268	214
	2当件数	88	185	1137	181
	計	92	319	2405	395
本人損傷死傷者数	死者	0	3	13	3
	重傷者	1	2	17	5
	軽傷者	127	231	1269	207

車両側の通行内容別事故件数、死傷者数(原付以上1当件数)

- ・ 車両側の安全不確認による事故が全事故件数の約43%を占めた。次いで前方不注意が多く約18%であった。
- ・ 一方死者数は最高速度に起因するものが約30%、前方不注意が約30%となった。
- ・ 重傷者数は安全不確認が約38%、前方不注意が約19%と、事故件数と同じ傾向を示した。

	信号無視	最高速度	左折違反	右折違反	優先通行	交差点安全進行	歩行者妨害	徐行違反	一時不停止	酒酔い	運転操作誤り	前方不注意	安全不確認	その他	計
事故件数	50	3	2	1	3	165	39	1	16	1	86	286	666	238	1557
死者	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	2	1	13
重傷者	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	4	8	3	21
軽傷者	65	0	2	2	4	177	36	1	19	2	107	370	712	270	1767

自転車の通行内容別事故件数、本人損傷死傷者数

- ・ 自転車における事故件数においては、違反なしの占める割合が約66%、安全不確認が約13%となった。
- ・ 違反無しには1当件数が0であることが特徴的である。

		信号無視	優先通行	交差点安全進行	一時不停止	運転操作誤り	前方不注意	安全不確認	その他	違反なし	計
事故件数	1当件数	5	0	3	3	7	7	15	13	0	53
	2当件数	14	0	17	3	0	1	60	54	393	542
	計	19	0	20	6	7	8	75	67	393	595
本人損傷死傷者数	死者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	重傷者	1	0	0	0	0	0	0	0	5	6
	軽傷者	15	0	18	6	5	1	60	54	401	560

歩行者の通行内容別事故件数、本人損傷死傷者数

- ・ 事故件数では違反なしの占める割合が約70%となり、次いで横断禁止場所の横断が約8%、信号無視が約8%、横断歩道外の横断が約4%であった。
- ・ 死者数では、横断禁止場所での横断が約43%と最も多かった。

		信号無視	横断歩道外横断	横断禁止場所横断	その他横断違反	めいてい徘徊	飛び出し	その他	違反なし	計
事故件数	1当件数	3	1	5	0	0	0	0	0	9
	2当件数	11	7	10	5	1	6	8	128	176
	計	14	8	15	5	1	6	8	128	185
本人損傷死傷者数	死者	1	0	3	0	1	0	1	1	7
	重傷者	2	0	1	0	0	0	0	5	8
	軽傷者	11	8	11	5	0	6	7	129	177

通行目的別事故件数、死傷者数

- ・ 通行目的別の事故件数では私用が最も多く約45%、次いで業務が約9%、通勤が約3%、通学は最も少なく約1%であった。
- ・ 一方死者数では私用が約53%、通勤が約37%、業務が約11%、通学は0であった。

		業務		通勤		通学など		
		職業運転	業務目的	出勤	退勤	登校	学業中	下校
事故件数(1.2当合計)	363	959	229	168	22	0	19	
死者	0	2	4	3	0	0	0	
重傷者	2	3	8	0	0	0	0	
軽傷者	78	348	151	126	22	0	18	

		私用										
		観光・娯楽	ドライブ	散歩(自転車全)	飲食	買物	訪問	送迎	通院	帰省	遊戯	疾病徘徊
事故件数(1.2当合計)	10	65	38	22	160	118	22	8	10	2	4	989
死者	0	2	0	2	1	1	0	0	1	0	1	2
重傷者	0	1	0	1	1	2	0	2	0	0	0	5
軽傷者	9	40	40	19	122	84	11	6	11	2	1	742